



世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪  
ニュースレターVol. 56 (2025年3月発行)

## 創立15年を振り返る

「奇跡！」としか表現できない15年の歩みでした。あらゆる面で全くのゼロからのスタート。この間、一番大切にしてきたことは、主の大きな計画の中で、今何をなすべきかを毎月三日間の祈りのリトリートを通して主に聴くことです。その結果、固定事務所は置かず、各カタリストは自分の生活費・活動費は与えられることを信じ、PCと携帯電話だけで活動するように導かれました。創立直後に起こった東日本大震災は、人間的知恵で年間計画・予算をつくることの虚しさを教えてくれました。これからも激動する世界で何をすべきか主に聴きつつ活動してまいります。今後も、共に歩んでくださる皆さまに感謝します。

(代表カタリスト 神田英輔)

## 「辺縁化された者を優先的に愛する神」を体現する教会

2010年にFVI「声なき者の友」の輪は設立されました。「声を出せない人 (the voiceless)」の友となることこそがイエスの友となることに他ならない、そのような「イエスの友として生きる人々」の連帯の輪を広げようという意図をもって名付けられました。17年前、2008年に市役所職員を退職し国際援助団体の事務所で私(陣内)が柳沢美登里さんと初めてお会いしたとき「**神様は最も貧しい者、辺縁化され、抑圧された者を優先的に愛される**」という言葉を知りました。記憶するかぎり教会でそのような教えを聞いたことがなかった私は、バブル期の豊かな日本から「最も貧しい人々」に仕えるためにバングラデシュに赴き、11年間の奉仕をされた柳沢さんのこの言葉に面喰らうと同時に胸に深く焼き付きました。FVIのカタリストとして15年間の活動を経て、この言葉の意味を今はとても深く理解できますし、この言葉こそが教会への神の召しそのものだと確信するようになりました。

この世界は「効率」という原理で動いています。功利主義を唱えたジェレミー・ベンサムは「最大多数の最大幸福」を言いましたが、この原理でいけば「8~9割ぐらいの人が抱える共通の困りごと」を優先的に解決するのが経済合理的という結論になるでしょう。しかし教会は「この世の原理」からこぼれ落ちた人の避け所(アジール)としてこそ、この世界に存在する意義があのでしょうか。福音書でイエスが話された、99匹の羊を残して1匹の迷った羊を探しに行く牧者の姿は「効率」



2023年の岐阜・JCE7の分科会の様子

や「最大多数の最大幸福」という原理には逆行しますが「最も貧しい人を優先的に愛する神」という神の姿には合致します。

2023年9月に岐阜で開催された日本伝道会議(JCE7)にてFVIは分科会「もしイエスが市長だったら」を担当しましたが、その宣言文『「おわり」から「はじめる」私たちの祈り』の「2」の第4項目にはこのような祈りが盛り込まれています。「性的少数者、外国人、路上生活者、重い病や心や体の障害を持った方など、偏見や差別、無理解に苦しんでいる方々が教会にもいます。そのうめきや葛藤に耳を傾け、互いの弱さを担い合うことで、私たちをキリストの力がおおう教会としてください」

教会の使命は辺縁化され差別され排除された「声なき者」と連帯し、そのような方々の友となっていくイエスの生き方の受肉化だということをFVIはこれからも体現する存在でありたいですし、そのような個人、教会とともに手を取り合って、神様が「もうここまでだよ」と言われるときまで、使命を果たし続けたいと決意を新たにしています。(カタリスト 陣内)

## ウクライナへの全面侵攻3年目の「祈り」

「まさか！」人々と国際社会の予想に反して、ロシアによるウクライナへの全面侵攻が2022年2月24日現地時間早朝始まって以来、ウクライナの市民から「安眠」という言葉が消えました。FVIとかねてより関係をもっていたボリス氏らキーウのメシニック・ジュー集会は、侵攻当初からキーウ陥落が噂される中、食料が底をつき、恐れで眠れない人々に寄り添う主イエスの隣人愛で仕え続けてきました。たとえ人間の野心と策謀が交錯する国際交渉が混迷に見えても、「ウクライナ抹消を試みる闇の力を取り去って」と叫び続ける祈りが聞かれるのを待ち望みます。二千年前、ひっそりと地上に降誕され、全人類と被造物のために自らの命を差し出して真実の「いのち」を与えてくださった主イエスこそ、各民族を貴ぶ「平和」を回復される方だからです。長引く戦いと政治の混乱に疲弊していても、世界中から「平和」を待ち望む祈りに主は応え、ウクライナ人が立ち上がる復興の日々を確信し、日本の支援者の皆様とともに歩み続けたいと思います。

(カタリスト 柳沢)

## その他の活動(2024年12月~2025年2月)

東京武蔵野福音自由教会、MPPコンサート(北千住・上目黒・谷戸公民館・貫井南)、弥生台キリスト教会、幡ヶ谷バプテスト教会、清瀬福音自由教会(以上東京都)、南浦和バプテスト教会(埼玉県)、International Japanese Christian Church(米国・ハワイ)、FVI役員会、万座温泉ホテル日進館チャペルタイム(以上群馬県)でFVIカタリストがセミナー、でFVIカタリストがセミナー、講演、報告等の奉仕させていただきました。共に労して下さった皆様に心より感謝いたします。

## 働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「FVI」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行の口座もご利用いただけますので、ご希望される方はお問い合わせください。(旧・三菱東京UFJ銀行の名称が変更されました。ご注意ください。)

\* このニュースレターは、<http://www.karashi.net/>に掲載されています。希望された方にはemailによる配信または印刷物として郵送させていただきます。送付先、送付方法の変更、部数の追加、差し止めなど、以下の連絡先までお知らせください。

\* 種資金による国際協力、カタリスト支援など、献金をお送りくださる場合は、同封の郵便振替用紙の通信欄に、献金先の国・地域名またはカタリスト名をご明記ください。

●「声なき者の友」の輪 事務局 email: info@karashi.net 090-3036-2776 (神田)